

昔の園舎の廃材を使ってベンチ作り 都城市の認定こども園で木育授業

国内



2022年6月16日(木) 11:50

宮崎県都城市の認定こども園では、昔の園舎の廃材を使ってベンチを作る木育の授業が行われました。

これは、子どもたちにもものづくりを通してSDGsを知ってもらおうと、都城地区木材青壮年会が開いたもので、志比田こども園の園児、およそ30人が参加しました。

園児たちは旧園舎の廃材を使ったベンチづくりに挑戦。座面の裏側に思い思いの絵を描いていきました。

このあと、青壮年会のメンバーが色を塗ったり組み立てたりしてベンチを仕上げていきました。

(園児)

「楽しかったです。家族の絵を描きました」

「みんなで色で塗ったところが楽しかった。これから木を大切にしたいと思う」

完成したベンチは、こども園のシンボルとなっているサクラの木の根元に設置されました。